

CUC公開講座2021

国府台における防災対応としての「車（シャ）バイバル」

千葉商科大学初のサバイバル教育指導者
～はじめての**二歩目**を歩み進めた職員の思い～

学校法人千葉学園 総務部施設環境課
前田 豊



2021年6月13日（日）



第一回「車（シャ）バイバル」開講
於:千葉商科大学

〈開講のきっかけ〉

近年大規模水害（台風）は関東でも頻繁に発生している。
国府台という高台（海拔20M以上）を利用した避難を
考えた際、「車」は非常に有効なツールとなる。

避難者として、また、避難受入側として何が出来るのか
を習得することが今回の目的。

規模感を把握するため今回は提案日程に参加可能な機関
のみご参加いただいた。

参加機関：和洋女子大学、東京医科歯科大学、
千葉商科大学





著者は72時間サバイバル教育協会代表理事の片山誠氏。防災に役立つ情報やアイテムだけではなく、実際にトラブルに直面したとき「柔軟に対処できる」ために「何を考え、何を実践すればいいか」を紹介。















【参加者コメント】

- 実際に体験すると想像と違うことを痛感した。
- 自組織の教職員、学生、そして地域住民をどのように災害時に守らなければいけないか改めて考える良い機会となった。
- 国府台コンソーシアム全体で災害時の体制について考える必要がある。（連携が必要）
- 「教えない教育（自分で解決させる教育）」は通常の(大学の)教科教育にも必要。今回は良い経験となった。



今回の所感



自分の想像を超える
難しさ、楽しさがわかる。

「見ること、わかること（知識）」
だけでなく
「やること、出来ること（経験）」を
多くの人に共感してもらう必要がある。
(サバイバルキャンプの時と同じ)





国府台コンソーシアム 次へのステップ

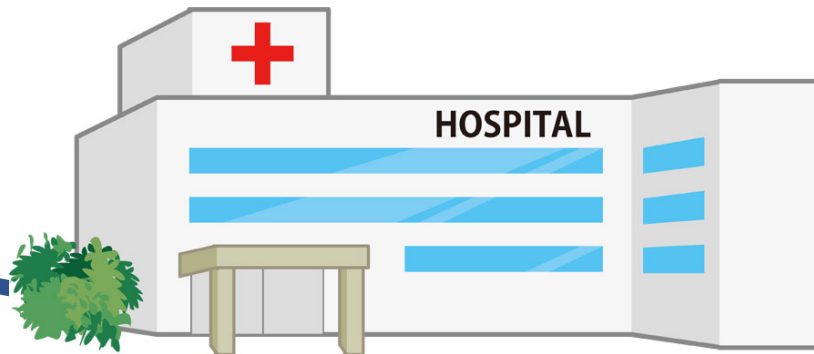
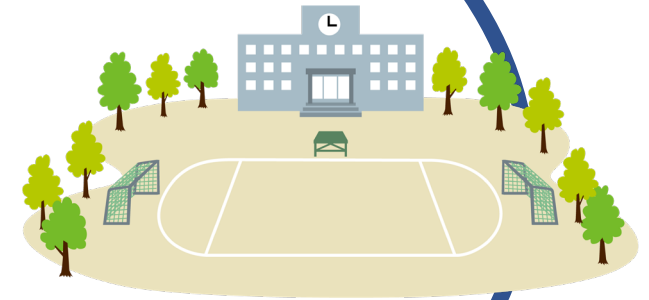
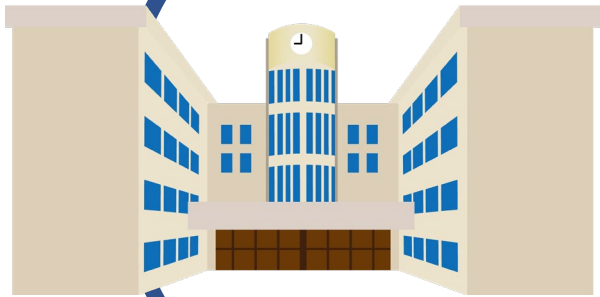
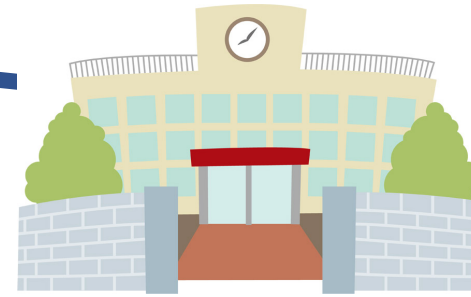
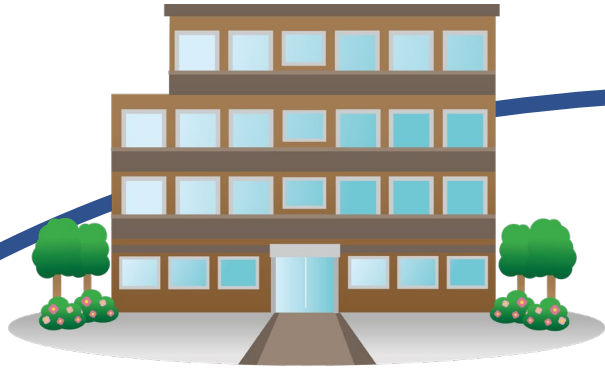


同じ課題を抱える機関同士で
共通の知識を共有、共通のスキルを取得
することにより、
各機関で出来ること、
機関同士で協力しなければ出来ないこと、
を再認識し、行動に起こし、解決していく。

組織力の強化



国府台コンソーシアム
組織力の強化



ご清聴
ありがとうございます
ございました

